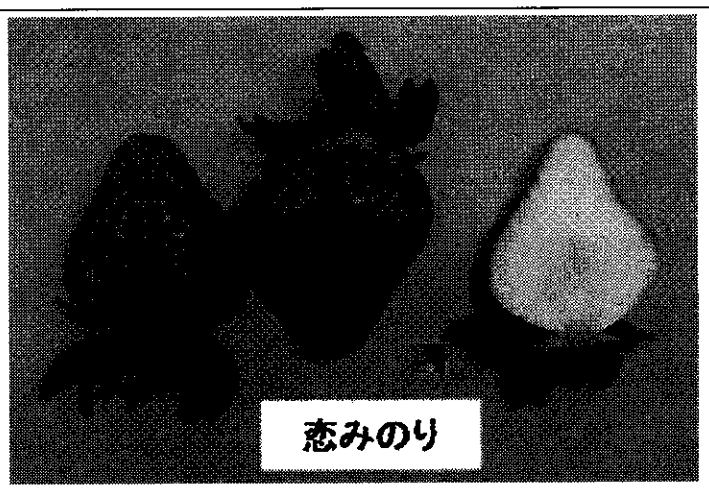
イチゴの新品種「恋みのり」

多収で糖度が高い

収穫・調製作業を省力化

農研機構で育成したイチゴの新品種「恋みのり」が大粒で多収、収穫・調製作業が省力化できると九州各県で評判になっており、とくに長崎県では県の奨励品種になっているそうで、今後急速にのびるだろうと識者はみているようだ。そこで、「恋みのり」の特性と周辺の動向を探ってみた。



実が硬く輸送性に富む「恋みのり」は有望視品種

農研機構が開発

農研機構は大果で糖度が高く、しかも多収性で収穫・調製が省力できるイチゴの品種開発に全力を傾注していたが、この品種は十分期待に応えられることが明らかになったため、「恋みのり」という品種名で普及させることになったようである。

これを試験栽培した長崎県や熊本県、大分県などではすでに行けると判断したようで、長崎県においては奨励品種にすることを決めており、熊本県でも導入する人が増えているようだ。

「恋みのり」育成の背景について

イチゴ栽培では10㌃当たり労働時間が年間2,000時間程度で、果菜類の中でもとくに多く、その6割程度が収穫・調製作業が占めていると言われている。

このことが高収益経営を目指すイチゴ農家にとっては大きな支障になっている。そこで農研機構では、多収、良食味で栽培がしやすく、収穫作業を大幅に省力できる次世代型のイチゴ品種の開発を目指していたが、ようやくそういう期待に応えるものが開発できたため、平成28年9月26日に品種登録（登録出願番号第31470号）を済ませて普及段階に入ったものである。

なお、この品種は「恋みのり」という名称になっているが、果実が大粒で多収性の早生系統「03042-08」を母親に、食味に優れる「熊研い548」（商標名「ひのしずく」）を父親にしている。

特徴について

①「恋みのり」は大粒で、鮮やかな淡赤色～赤色をしたイチゴ品種であり、草勢が強く、冬でも生育が旺盛。花数は多過ぎず、また、果房の伸びが良いから果実を見つけやすいため、収穫作業がやりやすい。さらに大粒で形状の揃いが良いので、調製作業が軽減することができる。

②促成栽培では11月下旬から収穫が可能で、単価の高い2月末までの収量が多くなる。

③収益性が高い2L以上の大玉率が高く、収穫最盛期における大玉率は8割以上になる。

「恋みのり」の栽培状況

輸送に傷み少ない

長崎県では奨励品種に

④果実の硬度は適度に高く、輸送に伴なう傷みが少なく日持ち性が良いことから、長期輸送性にも優れる。香りが強く、糖度および酸度は比較的に安定しており、食味は良好。

⑤うどんこ病に対しては中程度の抵抗性を有しているが、萎黄病および炭そ病に対しては罹病性であるため、健全な親株から増殖を行うとともに、育苗期を含め予防的な防除が必要である。

今後の普及予定

栽培管理がしやすく、高収量が見込め、収穫調製作業の省力化が可能という特徴を持つことから、パッケージセンターを整備した大規模生産に適す品種であることが認められているところから、長崎県、熊本県、大分県、山口県等では試験栽培が行われており、また、民間の種苗会社も2017年から種苗の供給を始めているところから普及することは明らかなようだ。熊本県あさぎり町で70㌃の栽培を行っている市岡いちご園ではハウスを増設することにしているが、それにはこの「恋みのり」を導入する計画をたてているようだ。

今後、輸送園芸地帯ではこのような栽培が増えるものと見られている。

市岡いちご園のかおり野

市岡いちご園（熊本）の主力品種

「かおり野」が好評

熊本県球磨郡あさぎり町の市岡いちご園の「かおり野」（三重県育成）は鮮やかな赤色で、粒が揃っており、しかも美味しいと評判になっている。

園主の市岡純一郎氏は八代市で大々的に栽培している池松洋一氏との交流が深く、いわば同氏がいちごの師匠的存在だ。

現在の栽培面積は70㌃で、品種は「かおり野」を主体に地元熊本県の育成種である「夕紅」と、農研機構の新品種「恋みのり」を若干栽培しているが、さらにそれらを増やすためにハウスの増設を計画しているようで、これが完成したら約1㌶の規模になるという。

「かおり野」は9月24日から10月初めに定植したそうだ。今年は気象に恵まれたため最終的には収穫が一緒になってしまったと言っている。

最近は労力にも恵まれており、連日多忙に明け暮れているそうだ。

表彰式は5月29日

プラザ菜の花で

千葉県野菜品種審査会は5月29日（水）午後4時から千葉市中央区長洲1－8－1のプラザ菜の花4階会議室において、第66回（平成30年度）品種審査会表彰式を開催する。

出席者は5月10日までに社名・所属名、職名、出席者氏名等について千葉県農林水産生産部園芸振興室中村氏宛に出席者名を報告すること。

園芸振興室は千葉市中央区市場町1番1号の千葉県庁で、電話は043（223）2882。

なお、表彰式終了後に懇親会を開催するが、その出席者についても報告されたいといっている。

休刊お知らせ

5月7日号は休日が多いため休刊します。ご了承下さい。

千葉県

レタスなど4品目

今年の野菜品種審査会

千葉県野菜品種審査会（会長・半田徹也氏＝千葉県農林水産部長）の第67回（平成31年度）千葉県野菜品種審査会は秋冬どりキャベツ、秋冬どりにんじん、年内どりレタス、秋冬どりねぎの4品種について審査会を行うことを決定、各関係機関に通達した。

計画の詳細は表のとおり。

第67回（平成31年度）千葉県野菜品種審査会　実施計画

	品目	作型	播種期	収穫期	審査期	ほ場地	担当機関	出品種子	出品締切日	審査対象品種の特性	備考
1	キャベツ	秋冬どり	8月上旬	11月上中旬	11月上中旬	旭市	農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所東総野菜研究室	500粒（コート種子）	7月5日（金）	・病害（黒腐病、菌核病）の発生が少ない ・収量性に優れる ・在圃性に優れる	・春系品種
2	にんじん	秋冬どり	8月上旬	12月上旬	12月上旬	香取市	農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所畑地利用研究室	5,000粒（コート種子）	7月5日（金）	・病障害に強い ・年内収穫に適する	
3	レタス	年内どり	9月上中旬	12月中下旬	12月中下旬	館山市	農林総合研究センター暖地園芸研究所野菜・花き研究室	1,000粒（コート種子）	8月2日（金）	・病害（べと病等）の発生が少ない ・低温での肥大が揃う	・結球レタス ・レタスビッグベイン病発生圃場で実施
4	ねぎ	秋冬どり	5月中旬	1月下旬～2月上旬	1月下旬～2月上旬	横芝光町	山武農業事務所	3000粒（コート種子）	4月12日（金）	・病害（葉枯病（黄色斑紋病斑））に強い ・耐寒性に優れる ・収量性に優れる	・セルトレイ育苗（チェーンポット）で実施